

(様式2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24 年 5 月 20 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490500091		
法人名	社会福祉法人 たちばな福祉会		
事業所名	たちばな苑グループホーム		
所在地	広島県呉市倉橋町14948番地 (電話) 0823-54-1516		
自己評価作成日	平成24年2月8日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	(社福) 広島県社会福祉協議会
所在地	広島県広島市南区比治山本町12-2
訪問調査日	平成24年2月27日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>温暖で豊かな自然環境に恵まれて、毎日散歩しながら季節を感じることができ、暮らしの中に癒し効果をもたらしてくれています。たちばな苑グループホームは特別養護老人ホーム、で尾サービスセンター、有料老人ホームが同じ敷地内にあり、行事、クラブなどを一緒に行うことで他施設利用の方とも交流ができています。また、経験豊富な職員で、目配り気配りを絶やさず、いつも笑顔をもっとに明るい家庭的なグループホームを目標としています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>たちばな苑グループホーム（以下、ホーム）は、呉市の南部に位置し、温暖な気候で瀬戸内海の景観が素晴らしい場所にあります。介護老人福祉施設やデイサービスセンターが併設され、行事やクラブ活動は併設の事業所と合同で実施し、入居者同士の交流が図られています。また、安全、安心をモットーに支援され、家族からは入居者の笑顔が見られるようになったと喜ばれています。入居者がホームでの生活を楽しんでおられる様子が伺えます。ホームでは、認知症実践者研修を修了した職員がおり、チームケアのリーダーとしても活躍されています。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎朝の引継ぎ時に唱和して理念に沿ったケアが日々提供出来る様取り組み実践しています	ホーム独自で「笑顔、やさしい態度と言葉かけ」の業務目標を定め、ホーム内に掲示されています。また、目標を毎朝ミーティングで唱和し、確認しています。事故が起こらないように安全にケアし、入居者の安心を得られるよう努めておられます。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事、盆踊り、祭り、駅伝大会の応援等に参加、地域の神社へ散歩し交流を深めています	近くの神社の祭りや、日頃の散歩などで地域住民と交流を図っておられます。地区対抗の駅伝大会では、入居者が沿道に出て応援されています。敷地内で実施する夏の盆踊り大会では、地域住民、家族を招待し盛大に行われています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	相談しやすい環境をつくり施設見学の時、グループホームの見学取り入れ、地域の高齢者の理解を深めていただけるよう努力しています	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	利用者のホームの暮らしぶりを見ていただき利用者様といっしょに行事をたのしんでいただきアドバイスをうけケアの質の向上につとめています	運営推進会議は2か月に1回開催されています。自治会長、民生委員、児童委員、老人クラブ会長、地域包括支援センター職員、家族の参加が得られています。会議の日には、入居者と一緒にお好み焼きなどを作ることが恒例で、参加者からは入居者の表情が良くなっているとの評価を得ておられます。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	事故などがあれば呉市に報告する仕組みがあります	現在は、行政との連携はあまり取られていませんが、要介護認定の更新時に呉市の認定調査員がホームへ訪問されます。	ホーム運営の面では、呉市との連携は欠かせません。今後は、運営推進会議の議事録を送付するとともに、地域の課題等の検討を行う際に、行政職員の出席が得られるよう呼びかけられることを提案します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	併設特養の勉強会に参加し、身体拘束のないケアを心がけています 玄関の施錠は必要な時のみ時間を決めてしています	職員は内部研修を通して、身体拘束をしないケアについて理解されています。また、現在身体拘束を必要とする入居者はいません。	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	外部研修、併設特養の勉強会に参加し足り入所されるとき、家族より生活歴、性格をしっかりと把握して虐待のきさしを見逃さないよう、気をつけています、		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	外部研修、併設特養の勉強会に参加できるように備えています 成年後見制度を利用されている利用者様がおられます		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約時に十分に、説明し、質問にはわかりやすく丁寧に対応し、理解、納得を得て、契約をむすんでいます		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	意見箱を設置し家族が面会のときに話しをしご意見を聴き解決に努めています	日常で家族からの意見があまり出されなため、毎月の入居者の生活状況を報告する手紙と合わせて、意見要望等の申し出用紙を同封されるなど工夫されています。家族からは、食事に刺身などを出してほしいとの要望もあり、意見を反映し提供した事例もあります。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1回の職員会議、毎月1回の苑長とのミーティング、職員での毎日のミーティングをおこなっています</p>	<p>月1回の職員会議や併設の特別養護老人ホーム苑長が出席する会議で、職員との意見交換が行われています。職員からの提案で、不適切な言葉かけについて、実際の事例をもとに全員で改善するなど確認も行われています。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>業務目標があり達成にむけて主任が指導をおこない、やりがいのある職場を目指しています</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>法人内外の研修、マニュアルを徹底し職員の力量に応じた外部研修の機会を確保し、法人全体で積極的に取り組んでいます 資格習得の促進</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>研修を通して同業者との意見交換、他施設の見学の機会を持ち課題の見直しをし、ケアの向上に努めています</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>居宅との連携を密にして事前訪問して家庭環境を把握しと本人とのコミュニケーションを大切にして不安を取除くようにしています</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>担当ケアマネジャーから情報を収集し、事前訪問、見学に来ていただき本人の希望と話をよく聞き対応しています</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>利用者の方に何が必要か担当ケアマネジャー、サービス事業所と連携をもち対応しています</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>掃除、食事の準備、片付け、洗濯干し、洗濯たたみ、クラブ、散歩等を一緒におこない本人の得意なことで出来ることをしてもらい、張りのあるその人にあつた支援をしています</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>本人、家族の話をよく聴き、時間をつくる為、面会時には利用者、家族、職員もはいたり、話を聴きお互いの理解をふかめています</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>併設特養の行事、クラブに参加、地域の行事に参加し馴染みの人たちと交流をふかめています</p>	<p>併設のデイサービス事業所と合同でレクリエーションを実施し、入居者は顔馴染みの利用者と世間話をして交流されています。また、近所のスーパーマーケットに買い物に出かけたり、住み慣れた地域へドライブに出かけられたりしています。家族の協力を得て、墓参りに行く入居者もおられます。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者のかたの性格、行動等を把握しよりよい関係づくりが出来るよう支援しています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	季節毎の挨拶状などをだしています		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その人らしさを引き出すように生活歴、対話を密にとり個別ケアにつとめています 暮らしの中から得られる情報をケアにつなげ利用者主体の暮らしを支援しています	胃ろうと診断された入居者が、本人の好きな物を食べることによって普通食を食べられるようになるまで回復した事例があります。また、学校の先生だった入居者が算数ドリルや習字などに取り組むなど、本人の思いを中心とした支援に努めておられます。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族、居宅、サービス事業所と連携をとり経過などの把握に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人、一人の日誌に毎日の状況を記録し、心身の状態の変化の早期発見につとめています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人、家族、管理者職員などで、話し合い利用者にとってよりよいケアができるように計画をたてています</p>	<p>ケアプランは、管理者、主任、医師、家族で話し合い、本人本位のプランとなるよう取り組まれています。また、概ね3か月ごとにモニタリングを実施し、現状に即した見直しが行われています。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日誌、引継ぎノート、個別記録に記入しミーティングを行い検討し計画を見直しています</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>併設施設のクラブ行事等の参加、グループホームでのおやつづくり、レクリエーションなどで利用者同士の交流を愉しまれています</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>運営推進会議をつうじて民生委員の協力をえたり、消防署の立会いの下で2ヶ月に1回訓練をおこなっています 月2回の地域のスーパーの買い物を楽しんでいただき地域の協力のもとドライブたのしんでいます</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>早期発見、早期治療に努めかかりつけ医の診断を定期的に受け適切な医療を行っています</p>	<p>本人、家族が希望する病院へ定期的に通院されています。また、健康管理のため、医師、看護師による定期的な健診が行われています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>かかりつけ医の看護師、及び緊急な場合は併設特養の看護師が対応出来る様支援しています 本人、及び家族の希望を聞き受診の支援を行っています</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院したとき、医療機関に情報提供し医療機関にお見舞いにおき情報を提供してもらいた退院時には、情報提供をいただき、退院後のケアに備えています</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>利用者、家族にとって最善な終末期ケアが提供できるよう、かかりつけ医と連携をはかりながら、家族、職員と話し合い対応について検討しています</p>	<p>ホームでは、家族の希望を受けて看取りをした事例があります。今後も、利用者・家族にとって最善の終末期ケアができるよう、医師、家族と協議しながら、体制づくりを検討されています。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>併設特養の勉強会に参加し応急手当や、初期対応の勉強会をしています 何か起これば随時、職員を集めて、知識、技術の習得に努めています</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>消防署の指導で併設特養と合同訓練をおこなっています 災害時の地域の避難場所も地域消防署と連携と確認しています</p>	<p>併設の施設や事業所と合同で、2か月に1回防災訓練を実施されています。入居者の避難誘導や夜間を想定した訓練なども行われ、万全の備えに取り組まれています。また、地域の消防団との協定も交わされています。さらに、事業所は海岸が近いので、独自に玄関前に防潮堤を設置し、高潮等による災害の備えが整えられています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入社時にプライバシー保護についてオリエンテーションをおこなっています 入浴、排泄については同姓の職員が当たるよう心がけています	入居者の尊厳を守るため、特に言葉づかいに配慮しながら支援されています。馴れ馴れしい言葉や命令口調など使わないよう気をつけておられます。「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言えるよう、職員の指導に取り組まれています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	絶えずコミュニケーションをもち、わかりやすく話しかけをおこない自己決定できるよう支援しています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	自由に過ごしていただき、個々のペースにあった、対応を心がけています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	行きつけの美容院へ家族といかれたり、特養へくる美容院にいけます また、季節にあった身だしなみに気をつけています		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	嗜好調査による好みをいかし、準備、片付けをいっしょにすることで、食に対して、意欲を持ってもらえるようにしています	食事は併施設調理場で作られた物を提供されています。ホームでは、入居者が当番制で職員と一緒に盛り付けや配膳を手伝わられています。入居者に嗜好調査を行い、好みに応じたメニューづくりに努力されています。健康増進に資するため、毎回の食事には水分と野菜、果物を取り入れておられます。ホームでは、行事食やバイキング方式にする日もあり、楽しく食事ができるよう支援されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	体調をくずされたとき、食が進まない時は好物を聞いて提供したり、主食をお粥にしたり、副食を刻んだりしています 水分補給時、話しかけや水分不足の利用者の方はその都度提供しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、歯磨き、うがいは個別におこなっています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄記録をとり、排泄間隔を把握しトイレの話しかけ。誘導をおこない、自立にむけて支援をおこなっています	自立支援に向けて、入居者のパターンを把握し、トイレ誘導をされています。現在おむつを使用する入居者は少なく、トイレでの排泄が継続できるよう支援されています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	個別摂取量に注意し体操、散歩の声かけをし、運動不足解消につとめています 医師の指示により服薬も投与しています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	利用者の状態に応じて、リフト浴、シャワー浴をするなどしています 曜日はきめていますがその人にあわせ個別に対応しています	ホームの風呂場は広く、週2回の入浴を基本に支援されています。入居者の状況に合わせて、リフト浴やシャワー浴で対応できるよう整備されています。リフト浴を使用する入居者も入浴を楽しまれています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個室を設け、自由に、休憩したり、和室があり自由にすごしていただいています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	医師の指示、説明を引き継ぎノートに記入して確認しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	利用者の生活歴に応じた、生花、習字、お茶などのクラブに参加する機会をつくり好みに応じて洗濯たたみ、散歩、園芸、おやつづくりをおこなっています		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	毎日の散歩を行うことで季節の草花に触れたりドライブをかねた月2回の買い物、散歩等に参加してもらい、家族にも一緒に外出していただくように働きかけています	天気の良い日は、敷地周辺や近くの神社へ散歩に出かけておられます。また、月2回は近くのスーパーマーケットへ買い物へ出かけています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	月2回の買い物の時に御自分で支払いをしていただいています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	公衆電話を設置し希望に応じています 宛名書きは職員がし御家族などの手紙のやりとりをしています		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居心地のよい、落ち着いた雰囲気でご過ごせるよう、自然環境が取り入れられ、玄関周りは季節ごとの花を植えたり季節の行事の飾りをかざり季節感を味わえるよう工夫しています	玄関に雛飾りが置かれ、季節感を感じることのできる飾り付けがされています。居室の入口にも飾り台があり、入居者が作成したお雛様が置かれています。リビングは南向きで日当たりが良く、明るい部屋となっています。南側にはベランダがあります。また、廊下には随所にベンチが置かれ、休憩場所としても利用されています。掲示板に1か月間の行事計画や写真を掲示し、利用者に喜ばれています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	食堂はいつでも過ごせるようにしています 廊下には利用者同士で過ごせるようイスをおいています		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入所時には本人の使い慣れたもの、大事にしているものなどもっていただき、居心地よく過ごせるようにしています	居室は広く、ベッド以外にソファなどを置くスペースも確保されています。使い慣れた大きな机やテレビなどを持ち込む入居者もおられました。居室入口のドアもすりガラスを使用し、プライバシーにも配慮されていることが伺えました。また、入居者がこれまで作成した絵や習字、ドリルなどをファイルに整理して置かれ、家族が訪問したときに本人の変化や状況が分かるように工夫されています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	建物内部がバリアフリーになっており手摺も設置し安全に過ごせるようになっていす		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の3分の2くらいの
			③利用者の3分の1くらいの
			④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の3分の2くらいと
			③家族の3分の1くらいと
			④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
			②少しずつ増えている
		○	③あまり増えていない
			④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の3分の2くらいが
			③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の3分の2くらいが
			③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎朝の引継ぎ時に唱和して理念に沿ったケアが日々提供出来る様取り組み実践しています		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事、盆踊り、祭り、駅伝大会の応援等に参加、地域の神社へ散歩し交流を深めています		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	相談しやすい環境をつくり施設見学の時、グループホームの見学取り入れ、地域の高齢者の理解を深めていざけるよう努力しています		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	利用者のホームの暮らしぶりを見ていただき利用者様といっしょに行事をたのしんでいただきアドバイスをうけケアの質の向上につとめています		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	事故などがあれば呉市に報告する仕組みがあります		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	併設特養の勉強会に参加し、身体拘束のないケアを心がけています 玄関の施錠は必要な時のみ時間を決めてしています		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	外部研修、併設特養の勉強会に参加し足り入所されるとき、家族より生活歴、性格をしっかりと把握して虐待のきさしを見逃さないよう、気をつけています、		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	外部研修、併設特養の勉強会に参加できるように備えています 成年後見制度を利用されている利用者様がおられます		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約時に十分に、説明し、質問にはわかりやすく丁寧に対応し、理解、納得を得て、契約をむすんでいます		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	意見箱を設置し家族が面会のときに話しをしご意見を聴き解決に努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1回の職員会議、毎月1回の苑長とのミーティング、職員での毎日のミーティングをおこなっています</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>業務目標があり達成にむけて主任が指導をおこない、やりがいのある職場を目指しています</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>法人内外の研修、マニュアルを徹底し職員の力量に応じた外部研修の機会を確保し、法人全体で積極的に取りこんでいます 資格習得の促進</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>研修を通して同業者との意見交換、他施設の見学の機会を持ち課題の見直しをし、ケアの向上に努めています</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>居宅との連携を密にして事前訪問して家庭環境を把握しと本人とのコミュニケーションを大切にして不安を取除くようにしています</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>担当ケアマネジャーから情報を収集し、事前訪問、見学に来ていただき本人の希望と話をよく聞き対応しています</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>利用者の方に何が必要か担当ケアマネジャー、サービス事業所と連携をもち対応しています</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>掃除、食事の準備、片付け、洗濯干し、洗濯たたみ、クラブ、散歩等を一緒におこない本人の得意なことで出来ることをしてもらい、張りのあるその人にあつた支援をしています</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>本人、家族の話をよく聴き、時間をつくる為、面会時には利用者、家族、職員もはいいり、話を聴きお互いの理解をふかめています</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>併設特養の行事、クラブに参加、地域の行事に参加し馴染みの人たちと交流をふかめています</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者のかたの性格、行動等を把握しよりよい関係づくりが出来るよう支援しています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	季節毎の挨拶状などをだしています		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その人らしさを引き出すように生活暦、対話を密にとり個別ケアにつとめています 暮らしの中から得られる情報をケアにつなげ利用者主体の暮らしを支援しています		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族、居宅、サービス事業所と連携をとり経過などの把握に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人、一人の日誌に毎日の状況を記録し、心身の状態の変化の早期発見につとめています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人、家族、管理者職員などで、話し合い利用者にとってよりよいケアができるように計画をたてています</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日誌、引継ぎノート、個別記録に記入しミーティングを行い検討し計画を見直しています</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>併設施設のクラブ行事等の参加、グループホームでのおやつづくり、レクリエーションなどで利用者同士の交流を愉しまれています</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>運営推進会議をつうじて民生委員の協力をえたり、消防署の立会いの下で2ヶ月に1回訓練をおこなっています 月2回の地域のスーパーの買い物を楽しんでいただき地域の協力のもとドライブたのしんでいます</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>早期発見、早期治療に努めかかりつけ医の診断を定期的に受け適切な医療を行っています</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>かかりつけ医の看護師、及び緊急な場合は併設特養の看護師が対応出来る様支援しています 本人、及び家族の希望を聞き受診の支援を行っています</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院したとき、医療機関に情報提供し医療機関にお見舞いにいき情報を提供してもらった退院時には、情報提供をいただき、退院後のケアに備えています</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>利用者、家族にとって最善な終末期ケアが提供できるよう、かかりつけ医と連携をはかりながら、家族、職員と話し合い対応について検討しています</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>併設特養の勉強会に参加し応急手当や、初期対応の勉強会をしています 何か起これば随時、職員を集めて、知識、技術の習得に努めています</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>消防署の指導で併設特養と合同訓練をおこなっています 災害時の地域の避難場所も地域消防署と連携と確認しています</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入社時にプライバシー保護についてオリエンテーションをおこなっています 入浴、排泄については同姓の職員が当たるよう心がけています		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	絶えずコミュニケーションをもち、わかりやすく話しかけをおこない自己決定できるよう支援しています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	自由に過ごしていただき、個々のペースにあった、対応を心がけています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	行きつけの美容院へ家族といかれたり、特養へくる美容院にいかれ また、季節にあった身だしなみに気をつけています		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	嗜好調査による好みをいかし、準備、片付けをいっしょにすることで、食に対して、意欲を持ってもらえるようにしています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>体調をくずされたとき、食が進まない時は好物を聞いて提供したり、主食をお粥にしたり、副食を刻んだりしています 水分補給時、話しかけや水分不足の利用者の方はその都度提供しています</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、歯磨き、うがいは個別におこなっています</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄記録をとり、排泄間隔を把握しトイレの話しかけ。誘導をおこない、自立にむけて支援をおこなっています</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>個別摂取量に注意し体操、散歩の声かけをし、運動不足解消につとめています 医師の指示により服薬も投与しています</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>利用者の状態に応じて、リフト浴、シャワー浴をするなどしています 曜日はきめていますがその人にあわせ個別に対応しています</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個室を設け、広いスペースがあり、自由に、休憩したり、ご自分のペースですぐしていただいています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	医師の指示、説明を引き継ぎノートに記入して確認しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	利用者の生活歴に応じた、生花、習字、お茶などのクラブに参加する機会をつくり好みに応じて洗濯たたみ、散歩、園芸、おやつづくりをおこなっています		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	毎日の散歩を行うことで季節の草花に触れたりドライブをかねた月2回の買い物、散歩等に参加してもらい、家族にも一緒に外出していただくように働きかけています		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	月2回の買い物の時に御自分で支払いをしていただいています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	公衆電話を設置し希望に応じています 宛名書きは職員がし御家族などの手紙のやりとりをしています		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居心地のよい、落ち着いた雰囲気でご過ごせるよう、自然環境が取り入れられ、玄関周りは季節ごとの花を植えたり季節の行事の飾りをかざり季節感を味わえるよう工夫しています		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	食堂はいつでも過ごせるようにしています 廊下には利用者同士で過ごせるようイスをおいています		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入所時には本人の使い慣れたもの、大事にしているものなどもってきていただき、居心地よく過ごせるようにしています		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	建物内部がバリアフリーになっており手摺も設置し安全に過ごせるようになっていきます		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の3分の2くらいの
			③利用者の3分の1くらいの
			④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の3分の2くらいと
			③家族の3分の1くらいと
			④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
			②少しずつ増えている
		○	③あまり増えていない
			④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の3分の2くらいが
			③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の3分の2くらいが
			③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

(様式3)

2 目標達成計画

事業所名 たちばな苑グループホーム

作成日 平成 24 年 6 月 10 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	行政との連携があまりとられてない	行政職員の出席が得られるよう呼びかける	運営推進会議などの案内を行う	6か月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。